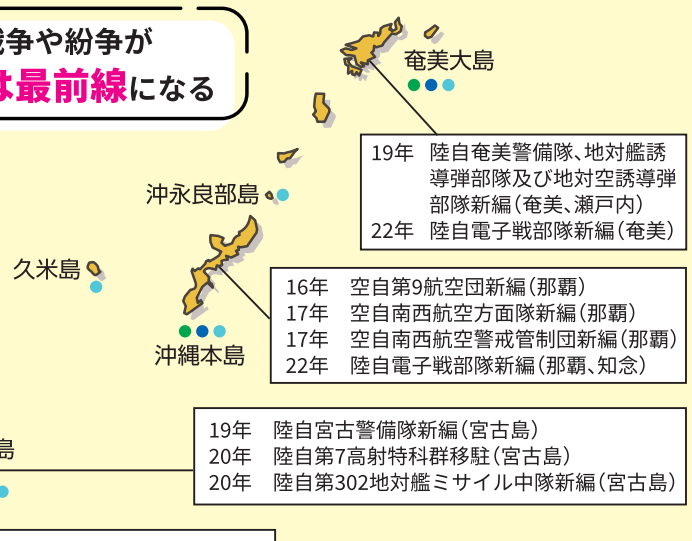
先制攻撃ミサイル部隊を軸に

南西諸島ですすむ軍事化

政府・防衛省は自衛隊の**先制攻撃ミサイル部隊**を軸に、
与那国島-石垣島-宮古島-沖縄本島-奄美大島(鹿児島県)**-馬毛島**(鹿児島県)に
基地を配置、島々の軍事要塞化を進めています。

日本と中国の間で戦争や紛争が
起った場合、**沖縄は最前線**になる

琉球大学
我部政明名誉教授



19年　陸自奄美警備隊、地対艦誘導弾部隊及び地対空誘導弾部隊新編(奄美、瀬戸内)
22年　陸自電子戦部隊新編(奄美)

16年　空自第9航空団新編(那覇)
17年　空自南西航空方面隊新編(那覇)
17年　空自南西航空警戒管制団新編(那覇)
22年　陸自電子戦部隊新編(那覇、知念)

19年　陸自宮古警備隊新編(宮古島)
20年　陸自第7高射特科群移駐(宮古島)
20年　陸自第302地対艦ミサイル中隊新編(宮古島)

(新編予定)陸自警備部隊(石垣)
(移駐予定)陸自地対艦誘導弾部隊(健軍→石垣)
陸自地対空誘導弾部隊(竹松→石垣)

【凡例】
● 陸自部隊　● 海自部隊　● 空自部隊

令和4(2022)年度版　防衛白書より
2022年4月1日現在

10・10空襲時の那覇港および旧那覇市街
1944年10月10日 沖縄県公文書館所蔵

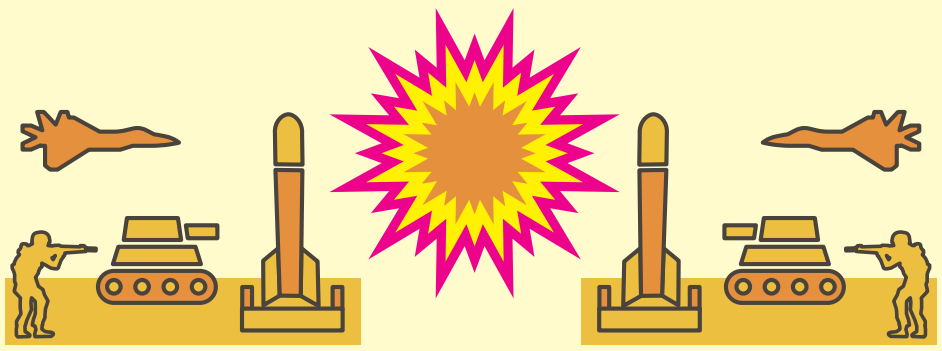
もし中国と戦争になれば
軍事施設は**標的**になりかねない

沖縄県宮古島 メロン畑農家
仲里成繁さん

終わりのない軍拡競争へ…

抑止力のつもりが衝突リスクを高める

自衛のためだと新兵器を導入し、
米国と軍事演習をするなど
軍事力だけを高めていくと、
相手国から戦争をする準備かと思われ、
終わりのない軍拡競争に突入してしまいます。



私たちの税金が際限なく防衛費につぎこまれる

戦争の反省から生まれた

憲法9条は“戦争をしない”誓い

戦争放棄　**戦力の不保持**　**交戦権の否認**

第2章　戦争の放棄
第9条　①　日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②　前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有は、
憲法9条/専守防衛をも逸脱する
とんでもない決定です

Q　敵基地攻撃能力って？

A　敵のミサイル基地などを直接攻撃する能力を保有することを言います。

Q　平和憲法があるのに許されるの？

A　絶対に許されません。
主権者であるわたしたちが声を上げて反対しましょう。

かつて日本が侵略した周辺国に対し、
日本は憲法9条で戦争放棄をしていることが安心供与となっている。
集団的自衛権が行使できなかった2016年以前は、米国の戦争に
付き合わされることもなかった。決して改憲を許してはいけません。

軍備拡張をやめ、9条による安心供与で

平和のための外交を

中　国　1972年の日中共同声明に基づき、中国の立場を尊重すると伝えて、軍拡への自制を求める。日中4文書などの外交資産を生かした、外交交渉に立ち戻る。

米　国　ナンシー・ペロシ下院議長など閣僚級の政治家の台湾訪問や、台湾の大使館を国として扱う等の軍事的緊張を高める挑発行為をやめるよう求める。

北朝鮮　朝鮮を敵視したり、周辺で軍事演習を行わず、朝鮮半島の平和協定を一刻も早く締結し、日朝国交回復をする。2002年の日朝平壌宣言に立ち還る。

拉致・核・ミサイル問題を包括的に解決し、国交正常化の早期実現に向けて、あらゆる努力をする(2002年 日朝ピョンヤン宣言)

安心供与外交が、戦争を防ぐ

安心供与外交とは…
相手国の不安を払拭することによって、
戦争を思いとどまらせ回避する外交

▶ 戦争放棄のメッセージ
憲法9条

自民党
麻生太郎副総裁

”台湾有事”や、ウクライナへのロシア侵攻(侵略)による皆の不安を煽り軍事化を進める岸田政権ですが、過去の戦争は全て”自分の国を守るために”という政府の大義名分ではじまりました。しかも、台湾防衛のためにも戦うと発言。台湾の人びとの意思を無視して、自ら周辺地域の緊張を招いています。

お金をかけて防衛力を持っているだけではだめで、いざとなったら
台湾防衛のために(防衛力を)使う。**戦う覚悟だ**　2023/8/8

台湾の将来の国家選択(台湾独立、中国と統一、現状維持)
半数以上が「現状維持」

永遠に現状維持	現状維持し、将来再判断	現状維持し、独立を目指す
28.60%	28.30%	25.20%

2020年台湾政治大学選挙研究センター